

BOSE[®]



Wave[®] SoundTouch[™] 
music system

オーナーズガイド - 日本語

安全上の留意項目

このオーナーズガイドは必ずお読みください

オーナーズガイドの指示に注意して、慎重に従ってください。ご購入いただいたシステムを正しくセットアップして操作し、機能を十分に活用いただくために役立ちます。また、必要な時にすぐ本書をご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。

警告:

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。
- リモコンの電池は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。電池を誤って取り扱うと、火災を起したり、化学物質で皮膚が侵されたりする危険性があります。また、分解や充電、焼却を行ったり100°C以上の熱を与えないようにしてください。使用済みの電池は速やかに処分してください。交換する場合は、正しい種類と型番の電池を使用してください。
- 電池を飲み込まないでください。化学薬品によるやけどを負う恐れがあります。この製品に付属のリモコンにはボタン電池が使用されています。ボタン電池を飲み込むと、体内で2時間以内に深刻なやけどを負って生命を脅かす恐れがあります。電池はお子様の手の届かないところに保管してください。バッテリーカバーがきちんと閉まらない場合は、リモコンの使用をやめてお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体の中に入ってしまったと思ったら、すぐに医師の診断を受けてください。
- 電池を誤って交換した場合、破裂の危険性があります。3Vリチウムボタン電池のCR2032またはDL2032に交換してください。
- 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- Wave® SoundTouch™ music system (システムとSoundTouch™ pedestalの組み合わせ、またはSoundTouch™ pedestalのみ)を、ボーズ製キャビネット/壁用ブラケットを使用して取り付けることはできません。



この製品には磁性材料が含まれています。埋め込み型医療機器の動作に影響があるかどうかについては、医師にご相談ください。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このオーナーズガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることをお客様に注意喚起するものです。

注意:

- 極性プラグを使用する場合、感電を避けるため、電源コードをコンセントにつなぐ際には、プラグの幅が広い方の刃をコンセントの幅が広い方のスロットに差し込んでください。プラグは根元まで完全に差し込んでください。
- システムまたはアクセサリを改造しないでください。許可なく製品を改造すると、安全性、法令の遵守、およびシステムパフォーマンスを損なう原因となる場合があります。
- 大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間にわたるヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。
- 本書で指定されている以外の方法で製品を操作したり、設定または調整を行うと、製品の内部から危険なレーザーが放出される恐れがあります。CDプレーヤーの調整または修理は、必ず資格を持つサービス担当者にお任せください。

注意:

- 製品ラベルは本体底面にあります。
- この製品は、屋内専用機器です。屋外、RV車内、船上などで使用するようには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。
- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。



使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。



This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.

本製品使用時の温度範囲は0°C (32°F) ~ 45°C (113°F)です。

クラス1レーザー製品

このCDプレーヤーは、EN/IEC 60825に基づき、クラス1レーザー製品に分類されています。クラス1レーザー製品のラベルは本体底面にあります。



1. このガイドをよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用し、ボーズ社の指示に従って行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
8. ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(ファンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ずメーカーにより指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、例えば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than the one to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the SoundTouch™ pedestal: This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 8 in. (20 cm) between this device and your body.

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

This device complies with FCC and Industry Canada RF radiation exposure limits set forth for general population. It must not be co-located or be operating in conjunction with any other antennas or transmitters.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

製品データ記録機能

このシステムには、ボーズ社が製品の使用状況とパフォーマンスを継続的に確認するために設計した、製品データ記録機能が搭載されています。製品データ記録機能では、音量レベル、電源オン/オフ、ユーザー設定、入力機器、電圧出力、セットアップデータ、およびその他の技術データや使用履歴が記録されます。これらのデータは、お使いのシステムに対してより良いサービスとサポートを提供するとともに、今後の製品設計を向上する目的で使用します。製品データ記録機能で保存されるデータを解読するには特殊な装置が必要であり、お客様がシステムのサービスをボーズ社に依頼するか、製品を返品された場合にのみ、ボーズ社でこれらのデータを回収することができます。製品データ記録装置では、お客様を特定できる個人情報や、システムを使用してお楽しみいただいたメディアの内容(タイトル、ジャンルなど)に関する情報は、一切記録されません。

安全上の留意項目

Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements						
Toxic or Hazardous Substances and Elements						
Part Name	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	0	0	0	0	0
Metal parts	X	0	0	0	0	0
Plastic parts	0	0	0	0	0	0
Speakers	X	0	0	0	0	0
Cables	X	0	0	0	0	0

O: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement in SJ/T 11363-2006.

X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement in SJ/T 11363-2006.

製品情報の控え

控えとして、Wave® SoundTouch™ music systemのシリアル番号を下の欄にご記入ください。シリアル番号とモデル番号は、製品の底面に記載されています。

シリアル番号: _____

モデル番号: _____

購入日: _____

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをおすすめします。

「Made for iPod」、「Made for iPhone」および「Made for iPad」とは、そのアクセサリがiPod、iPhone、あるいはiPadへの接続専用に設計され、アップル社が定める性能基準を満たしていることと開発者によって認定されたものであることを意味します。Appleはこの装置の操作、または装置の安全性と規制基準への準拠について責任を負いません。このアクセサリをiPod、iPhoneあるいはiPadと共に使用すると、無線通信の性能に影響を与える場合があります。

AirPlay、iPad、iPhone、iPod、iTunes、は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

AndroidおよびGoogle PlayはGoogle Inc.の商標です。

MPEG Layer-3オーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThompsonからライセンスされています。

SoundTouchおよび音符と無線電波を組み合わせたデザインは、米国および他の国々におけるBose Corporationの商標です。

Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。

Windowsは、アメリカ合衆国および他の国々におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

Wave music systemのデザインは、米国および他の国々で登録されたBose Corporationの登録商標です。

© 2014 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

Bose® SoundTouch™ について			
主な特長	6	アラームの設定と使用	
Wave® SoundTouch™ music system について	6	アラームボタンとアラーム表示	15
システムの特長	6	[Alarms] ボタンの使い方	15
デモ用 CD	6	アラーム表示	15
永年の研究から生まれた高音質	6	アラームを設定する	15
		アラームを使用する	16
		アラームのオン/オフを切り替える	16
		アラームのスヌーズを使う	16
システムのセットアップ		アラームの設定と使用	
内容物の確認	7	外部機器の接続	
設置場所を選択する	7	システムの接続	17
システムを pedestal に接続する	7	AUX IN 端子を使用する	18
システムを電源に接続する	8	ヘッドホンの使用	18
システムを Wi-Fi® ネットワークに追加する	8	外部アンテナを使用する	19
SoundTouch™ app をダウンロードしてインストールする	8		
システムを Wi-Fi ネットワークに接続する	8	Wave® SoundTouch™ music system の設定	
現在時刻を設定する	8	セットアップメニュー	20
システムの使用		高度な機能	
リモコン	9	Wi-Fi® 機能を無効にする	21
タッチセンサー	10	Wi-Fi 機能を再度有効にする	21
ディスプレイの表示	10	SoundTouch™ pedestal を再起動する	21
システムの電源操作	10	SoundTouch™ pedestal の設定をリセットする	21
スタンバイモード	10		
音量を調節する	10	お手入れについて	
スリープタイマーを設定する	10	故障かな? と思ったら	22
		リモコンの電池を交換する	23
アプリを使用したシステムの操作		お手入れについて	23
SoundTouch™ app を使用する	11	ユーザーサポート	23
困ったときは	11	お問い合わせ先	23
別のスマートフォン、タブレット、コンピューターなどから	11	保証	23
システムを操作する	11	仕様	23
		付録: コンピューターを使用したシステムの	
		セットアップ	
プリセットのカスタマイズ		セットアップに関する重要な情報	24
プリセットの機能	12	デスクトップコンピューターを使用してセットアップする	24
必要な知識	12	コンピューターでシステムをセットアップする	24
プリセットを再生する	12		
プリセットを設定する	12		
他のソースの再生			
AirPlay 対応機器から AirPlay のストリーミングを再生する	13		
FM/AM ラジオを聴く	13		
FM/AM ラジオの放送局を選ぶ	13		
FM/AM ラジオ放送局をプリセットに登録する	13		
トークラジオモード	13		
FM ラジオの受信状態を向上する	13		
オーディオ CD の再生	14		
MP3 CD の再生	14		
CD 再生モード	15		

Bose® SoundTouch™について

SoundTouch™を使用すると、インターネットラジオ、音楽サービス、コンピューターの音楽ライブラリなどをストリーミング配信できます。Wi-Fi®を使用している場合は、お気に入りの音楽を家の中のどの場所でもすぐに再生できます。

主な特長

- インターネットラジオ、音楽サービス、コンピューターの音楽ライブラリなどをワイヤレスで利用できます。
- スマートフォンやタブレットからワイヤレスをセットアップできます。
- お気に入りの音楽を自由にプリセットして、簡単にストリーミング再生できます。
- 自宅のWi-Fiネットワークにすぐに接続できます。
- 無料のSoundTouch™ appをコンピューターやスマートフォン、タブレットなどにインストールすれば、操作がさらに便利になります。
- 外部機器をいつでも簡単に追加して、自宅のどの部屋でも再生できます。
- さまざまな種類のBose®オーディオシステムに対応しているので、再生環境に合わせた機器を選択できます。

Wave® SoundTouch™ music systemについて

この度はWave® SoundTouch™ music systemをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は、どのお部屋でもお気軽に高音質の音楽をワイヤレスでお楽しみいただけるシステムです。Wave® music systemにSoundTouch™ pedestalを取り付けると、ボタン操作だけでWi-Fiで音楽を楽しめます。

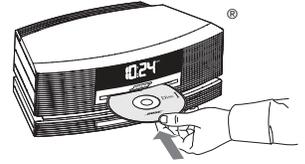
SoundTouch™のセットアップと操作には、無料のSoundTouch™ appを使用します。「システムをWi-Fi®ネットワークに追加する」(8ページ)をご覧ください。

システムの特長

- コンパクトなボディで臨場感あふれる感動の高音質をお楽しみいただけます。
- インターネットラジオやコンピューターの音楽ライブラリ、音楽サービス、FM/AMラジオ、CDなど、あらゆる音源をSoundTouch™で簡単にボタン操作できます。
- AirPlayを使用して、iPhone、iPad、iPodから音楽をストリーミング再生できます。
- AUX端子が搭載され、外部機器を接続して再生できます。
- Ethernet端子を使用すれば、有線でもネットワークに接続できます。
- システムのセットアップと操作は、無料のSoundTouch™ appで行います。

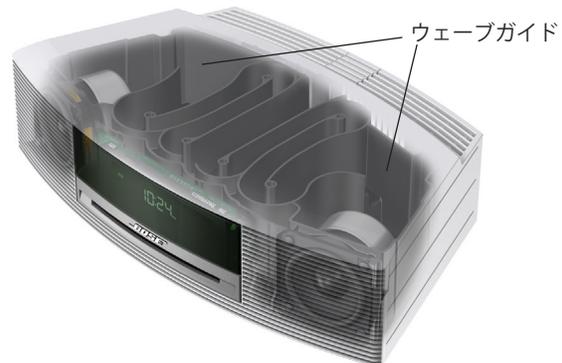
デモ用CD

まず、付属のデモ用CDをお聴きください。デモ用CDをWave® SoundTouch™ music systemの前面スロットに差し込むと、CDが自動的に再生されます。



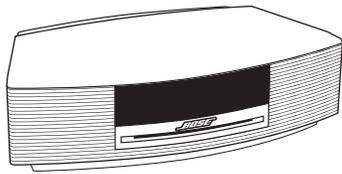
永年の研究から生まれた高音質

本機には、ボーズ社の14年以上にわたる研究成果が結実した独自技術、「ウェーブガイド・スピーカー・テクノロジー」が搭載されています。これは、本体に内蔵された共鳴管(ウェーブガイド)によって小型スピーカーの空気振動を大きな音響エネルギーに変換し、広がりのある重低音を再現する技術です。どんなインテリアにも調和するコンパクトなデザインを損なわないよう、ウェーブガイドは複雑に折りたたまれ、本体に収められています。Wave® SoundTouch™ music systemに内蔵されている2本のウェーブガイドの長さは合計132 cmにも及び、このサイズで大型スピーカーを凌ぐ重低音を再現します。

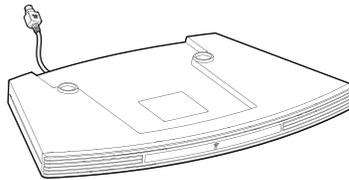


内容物の確認

箱の中身を取り出して、下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Wave® music system



SoundTouch™ pedestal



リモコン(電池装着済み - 動作確認用として)



デモ用CD



USBケーブル
(セットアップ専用)



電源コード
(付属の電源コードは購入された国によって異なります)



T型FMアンテナ

注記: 万一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでの使用はお止めください。

箱と梱包材は、輸送用として後日使用する場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。

設置場所を選択する

- より良い音響効果を得るには:
 - Wave® SoundTouch™ music systemの正面で音楽をお楽しみください。
 - 壁からおよそ60cm以内に近付けた場所に設置することをおすすめします。また、部屋の角に設置することは避けてください。
- システムは安定した水平な面に設置します。

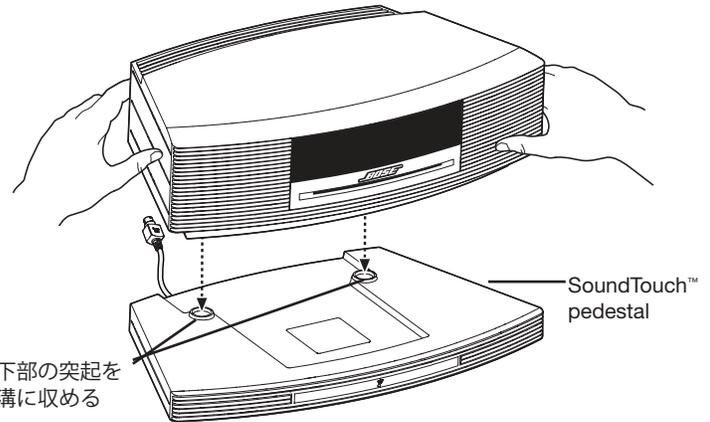
注意:

- Wave® SoundTouch™ music systemを金属面の上に設置しないでください。AMラジオの受信感度が低下することがあります。
- 他の電子機器と同様、Wave® SoundTouch™ music systemは内部から多少の熱を発生しますので、熱に弱い物の上や近くに設置しないでください。
- Wave® SoundTouch™ music systemを湿気の多いところや水分のかけやすいところに設置しないでください。

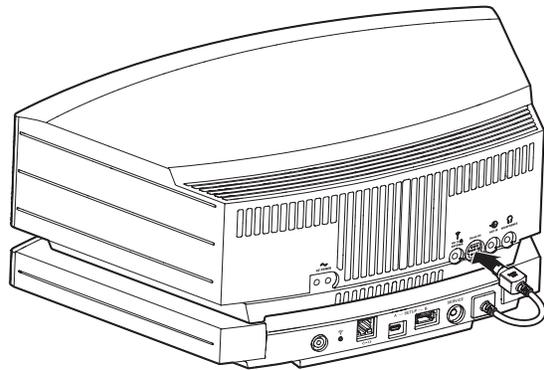
システムをpedestalに接続する

SoundTouch™ pedestalはWave® music systemをネットワークに接続するためのものです。

1. SoundTouch™ pedestalを安定した水平な面に設置します。
2. Wave® music systemを慎重にSoundTouch™ pedestalの上に置きます。
 - Wave® music system下部の突起をSoundTouch™ pedestal上部の溝に収めます。
 - Wave® music systemが水平に設置され、本体とpedestalの左右端がずれていないことを確認してください。



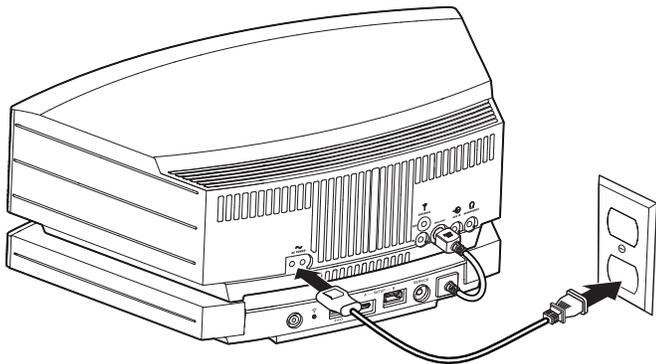
3. SoundTouch™ pedestalのケーブルを **Bose Link** 端子に差し込みます。



システムのセットアップ

システムを電源に接続する

1. 電源コードの小さい方のプラグを、**AC Power** 端子に差し込みます。
2. 電源アダプターを壁のコンセントに差し込みます。



システムをWi-Fi®ネットワークに追加する

システムをネットワークに追加するには、ネットワークに接続しているスマートフォンまたはタブレットにSoundTouch™ appをダウンロードしてインストールする必要があります。インストールしたら、アプリを使用してシステムをネットワークに接続します。アプリを起動すると、システムをネットワークに接続してセットアップする手順が表示されます。

注記: スマートフォンやタブレットがない場合は、コンピューターでセットアップを行います。24ページをご覧ください。

システムを既存のSoundTouch™アカウントに追加するには

別のシステム用にSoundTouch™をセットアップしてある場合は、SoundTouch™ appを再度ダウンロードする必要はありません。

1. スマートフォンやタブレットで、SoundTouch™アイコン  をタップしてアプリを起動します。
2. **[EXPLORE] > [設定] > [システム] > [システムの追加]**の順にタップして、別のシステムを追加します。

SoundTouch™ appをダウンロードしてインストールする

システムをpedestalと電源に接続したら、次の手順でアプリをダウンロードしてインストールします。

スマートフォンやタブレットに**SoundTouch™ controller app**をダウンロードします。



Bose SoundTouch™ controller app

- iOSユーザーの場合: App Storeからダウンロードします
- Android™ユーザーの場合: Google Play™ストアからダウンロードします

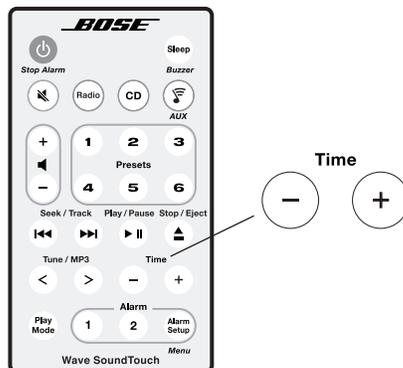
システムをWi-Fiネットワークに接続する

アプリをインストールしたら、次の手順でシステムをネットワークに追加します。

1. スマートフォンやタブレットで、 をタップしてアプリを起動します。
アプリを起動すると、システムをWi-Fiネットワークに接続する手順が表示されます。
2. アプリに表示される手順に従い、SoundTouch™アカウントの作成、音楽ライブラリや音楽サービスの追加などのセットアップを完了します。

現在時刻を設定する

1. **[Time -]**ボタンまたは**[Time +]**ボタンを1秒以上長押しします。



最初にディスプレイに「**HOLD TO SET**」と表示され、すぐに「**-CLOCK SET-**」に変わります。



2. **Time** ボタンを放します。
3. **Time -**ボタンを押すと時計が戻り、**Time +**ボタンを押すと時計が進みます。ボタンを操作して、現在時刻に合わせてください。ボタンを長押しすると時計が速く動きます。
4. ボタンを放して5秒経過すると、最後に表示された時刻に設定されます。

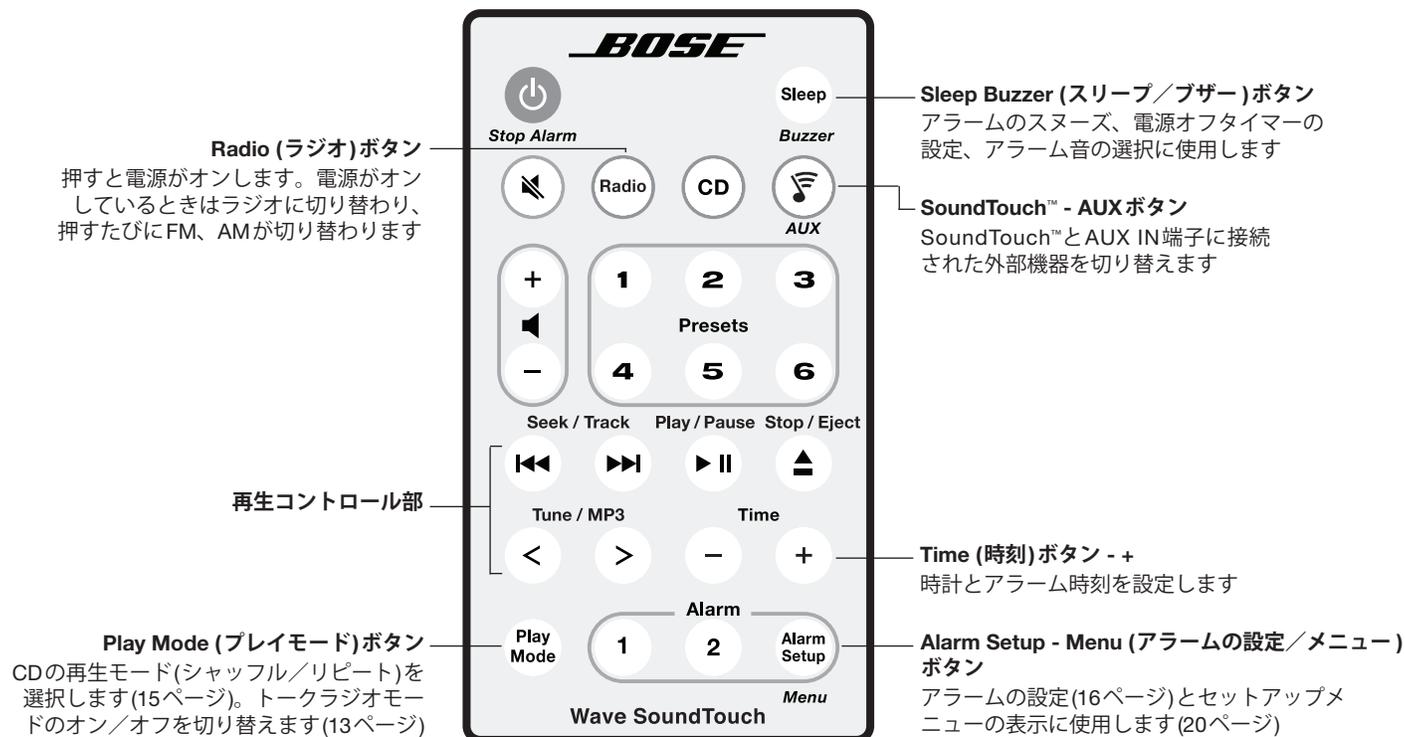
注記: 時計の12時間表示(AM/PM表示)と24時間表示を変更する方法は、「セットアップメニュー」(20ページ)をご覧ください。

注記: 停電や電源ケーブルの取り外しなどでWave® SoundTouch™ music systemに電源が供給されなくなっても、システムの設定は保存されています。ただし、設定した時刻は48時間経過するとバックアップメモリーから消去されます。

リモコン

リモコンを使用して、Wave® SoundTouch™ music systemを操作できます。リモコンをディスプレイに向け、ボタンを押してください。リモコンの到達距離は、およそ6 mです。

注記: ボタンを長押しする場合は1秒以上押し続けてください。



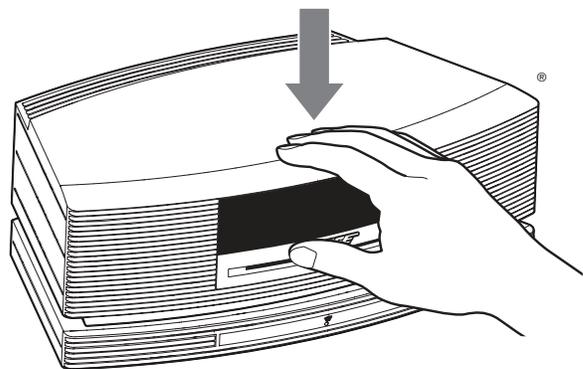
注記: 、、または ボタンを押すと、そのソースを選択した状態でWave® SoundTouch™ music systemの電源がオンになります。

システムの使用

タッチセンサー

Wave® SoundTouch™ music systemは、本体の上部手前部分にタッチセンサーを内蔵しています。

タッチセンサーに手を触れることにより、Wave® SoundTouch™ music systemの電源のオン/オフ、アラーム音のスヌーズ、目覚ましのリセット(15ページ)などの操作が行えます。



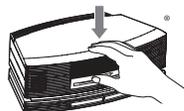
ディスプレイの表示



システムの電源操作

- リモコンの ボタンを押します。

- または
- タッチセンサーに手を触れます。



最後に再生していたソースが有効になります。

その他の方法

ソースボタン のいずれかを押し、選択したソースに切り替わります。

注記: [AUX] ボタンを押しても、AUX INに接続されている外部機器(テレビなど)の電源はオンになりません。外部機器の電源を先にオンにしてください。

スタンバイモード

ボタン操作を行わずに24時間が経過すると、システムはスタンバイ(オフ)となります。18分スタンバイタイマー(20ページ)がオンの場合、音が再生されずかつボタン操作が行われない期間が18分間続くと、自動的にスタンバイとなります。

システムがネットワークに接続されている場合、スタンバイに切り替わっても接続は保持されます。

音量を調節する

- 音量を調節するには、 ボタンまたは ボタンを長押しします。
- VOLUME - 0** (最小レベル)から**99** (最大レベル)までの音量がディスプレイに表示されます。

- このボタンを押すとシステムの音声ミュートされます。解除するにはボタンをもう一度押すか、 ボタンを押します。

ミュート中に ボタンを押して、ミュートしたまま音量を下げておくこともできます。ただし、AirPlayオーディオストリームを再生している場合は、ミュート中に ボタンを押すとAirPlayのミュートが解除され、再生しながら音量が下がります。

注記: Wave® SoundTouch™ music systemの電源がオフの場合でも、音量を10～75の間で調節しておくことができます。

スリープタイマーを設定する

- [Sleep] ボタンを押すと、設定した時間が経過した後にWave® SoundTouch™ music systemが自動的にオフになります。

- [Sleep] ボタンを押して、ディスプレイに「SLEEP - 30 MIN」(または設定した時間)の表示が現れると、カウントダウンが始まります。システムが電源オフの状態ですべてのボタンを押すと、電源がオンとなり、スリープタイマーがすぐに有効になります。タイマーのカウントダウンが始まると、最後に選択していたソースが再生されます。
- ディスプレイに「SLEEP」が表示されているときに[Sleep] ボタンをもう一度押すと、スリープタイマーを10～90分の間(10分間隔)で変更したり、タイマーをオフにしたりできます。

注記: スリープタイマーの設定中に10秒間ボタン操作を行わないと、Wave® SoundTouch™ music systemは自動的にスリープタイマーのセットアップモードを終了します。

- スリープタイマーの残り時間を確認するには、[Sleep] ボタンを押します。
- スリープタイマーを解除するには、**電源ボタン**を押します。

SoundTouch™ appを使用する

SoundTouch™ appは、スマートフォンやタブレット、コンピューターなどからSoundTouch™を操作するためのソフトウェアです。このアプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどでSoundTouch™ systemの機能を遠隔操作できます。

SoundTouch™の設定の管理、音楽サービスの追加、世界中のインターネットラジオ局の選局、プリセットの設定と変更、音楽のストリーミング再生、再生中のソース情報の表示などが行えます。

SoundTouch™ appを使用してネットワーク上のシステムをセットアップしたら、ストリーミング音楽の検索やプリセットの変更が行えます。

困ったときは

システムの詳しい使用方法については、ヘルプヒントやアプリのヘルプをご覧ください。

ヘルプヒント

セットアップが完了すると、操作中の内容に合わせたヘルプヒントが画面に表示されます。ヘルプヒントには、プリセットの変更方法など、システムを使用するための手順が表示されます。

ヒントが表示されるようにするには

ヒントが無効になっている場合は、次の手順でヒントの表示を有効にします。

1. SoundTouch™ appを起動し、**[EXPLORE] > [SETTINGS (設定)] > [Help Tips (ヘルプヒント)]**の順に選択します。
2. **[SHOW TIPS (ヒントの表示)]**スライダーを**[ON]**にします。

アプリのヘルプ

SoundTouch™の使用方法を確認するには、次の操作を行います。

1. アプリで**[EXPLORE] > [HELP (ヘルプ)]**の順に選択します。
2. ヘルプトピックで目的の項目を探します。

別のスマートフォン、タブレット、コンピューターなどからシステムを操作する

SoundTouch™ systemをホームWi-Fi®ネットワークに接続すると、同じネットワーク上の任意のスマートフォン、タブレット、コンピューターなどからシステムを操作できます。

1. デバイスをシステムと同じネットワークに接続します。
2. デバイスにSoundTouch™ appをダウンロードしてインストールします。
 - スマートフォンまたはタブレットを使用する場合は、8ページをご覧ください。
 - コンピューターを使用する場合は、24ページをご覧ください。

プリセットのカスタマイズ

プリセットの機能

6つのプリセットには、お気に入りの音楽ストリーミングサービス、インターネットラジオ局、音楽ライブラリのプレイリスト、アーティスト、アルバム、曲などを自由に保存できます。プリセットした音楽は、リモコンを使用していつでも簡単に再生できます。

ヒント: スマートフォンやタブレット、コンピューターなどで、SoundTouch™ appを使用してプリセットを操作することもできます。

必要な知識

- プリセットは、アプリとWave® SoundTouch™ systemのリモコンのどちらからでも設定できます。
- iTunesやWindows Media Playerの音楽ライブラリをプリセットに保存している場合は、音楽ライブラリを保存しているコンピューターの電源がオンになっていて、Wave® SoundTouch™ systemと同じネットワークに接続されている必要があります。
- AirPlayのストリーミングや、AUX端子に接続したオーディオ機器をプリセットに設定することはできません。

プリセットを再生する

アプリを使用してプリセットを設定し、リモコンの  ボタンを押します。

ディスプレイに「**SOUNDTOUCH**」と表示され、SoundTouch™ pedestalからストリーミングされるコンテンツを選択できるようになるまで待ち受け状態になります。



注記: システムの電源を初めてオンにしてSoundTouch™を選択したときは、コンテンツが数秒間表示されません。その後は表示されるまでの時間が短くなります。

コンテンツが選択可能になったら、リモコンの6つの[Presets]ボタンのいずれかを押し、ソースを選択します。ボタンを押さない場合、最後に選択していたSoundTouch™ソースが再生されます。



トラックを前後に送るには、**Seek/Track** ボタンの早送り  または巻き戻し  を押します(または長押しします)。



注記: 一部のインターネット音楽サービスは早送り／巻き戻しのコマンドに対応していません。

プリセットを設定する

1. アプリを使用してシステムで音楽をストリーミング再生します。
2. 音楽を再生しているときに、リモコンのプリセットボタンを2秒間長押しします。プリセットが設定されると、システムからビープ音が聞こえます。



注記: SoundTouch™ appの詳しい使用方法については、アプリのヘルプを参照してください。

AirPlay対応機器からAirPlayのストリーミングを再生する

Wave® SoundTouch™ music systemをネットワークに接続したら、同じWi-Fi®ネットワーク上にあるAirPlay対応機器からのストリーミングオーディオを再生する準備が整います。

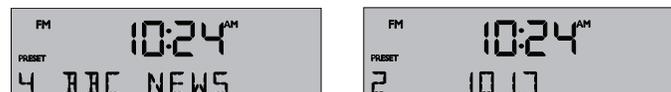
1. AirPlay対応機器の音楽再生アプリを起動します。
2. 機器で  をタップまたはクリックして、SoundTouch™ systemを選択します。
ヒント: システムの音量を最適な状態にするには、機器の音量を75パーセント程度に調節します。
3. 音楽アプリで音楽を再生します。
 ディスプレイに「AIRPLAY」と表示され、続いて再生中のソースに関する情報が表示されます。



FM/AMラジオを聴く

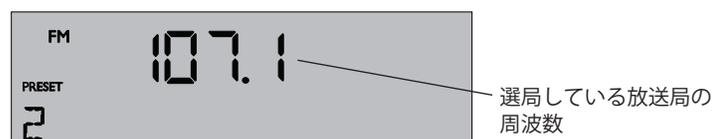
Radio ボタンを押すとラジオの電源がオンになり、最後に選択されていた放送局を受信します。**Radio** ボタンを押すたびに、FMとAMが切り替わります。

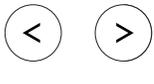
FMラジオを選択すると、現在の放送局の周波数がディスプレイ上に表示されます。情報の表示は、セットアップメニューのRADIO TEXT設定でオン/オフできます。RDS情報のオン/オフ設定は、日本では使用しません。「セットアップメニュー」(20ページ)をご覧ください。



FM/AMラジオの放送局を選ぶ

[Radio] ボタン、[Seek/Track] ボタン、または[Tune/MP3] ボタンを押すと、ラジオの放送局が選択され、選択した放送局の周波数がディスプレイの中央に表示されます。



- Seek / Track** 
- **Seek/Track**  ボタンを押すと、低い周波数側で十分受信できる電波の強さを持つ放送局を自動的に探します。
 - ラジオの高い周波数側をスキャンし、受信可能な隣の放送局を自動的に選局するには、**[Seek/Track]**  ボタンを押します。
- Tune / MP3** 
- 低い周波数側の放送局を手動で選局するには、**[Tune/MP3 <]** ボタンを押します。
 - 高い周波数側の放送局を手動で選局するには、**[Tune/MP3 >]** ボタンを押します。
 - 低い周波数側にすばやく移動するには、**[Tune/MP3 <]** ボタンを長押しします。
 - 高い周波数側にすばやく移動するには、**[Tune/MP3 >]** ボタンを長押しします。

注記: AMラジオの受信状態が良くない場合は、Wave® SoundTouch™ music system本体の向きを左右に回すと、改善されることがあります。FMラジオの受信状態が良くない場合は、電源コードがまっすぐになっているかどうかを確認してください。FMラジオの受信状態を改善するには、外部FMアンテナを接続する方法があります。「外部機器の接続」(18ページ)をご覧ください。

FM/AMラジオ放送局をプリセットに登録する

FMラジオとAMラジオの放送局をそれぞれ6つまで登録し、**[Presets]** ボタンですばやく呼び出すことができます。同じボタンに別の放送局を登録すると、以前登録した放送局に上書きされます。



1. プリセットに登録する放送局を選局します。
2. 6つの[Presets]ボタンのいずれかを、ピープ音が2回聞こえ、プリセット番号と放送局の周波数がディスプレイに表示されるまで長押しします。
3. [Presets]ボタンのいずれかを押し、登録されたFM/AMラジオの放送局がすばやく選局されます。

トークラジオモード

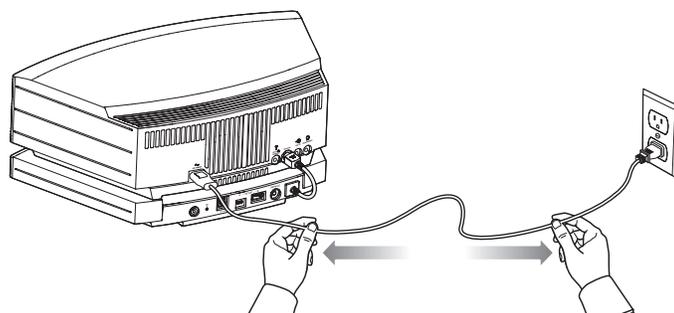
一部のラジオ放送局では、トーク番組やニュース番組でマイクの設定や音声周波数の調整により、低音が強調されている場合があります。これは、一般的なラジオ機器でアナウンサーなどの声を聞き取りやすくするために行われているものです。高音質のオーディオ製品では、この番組を再生すると音が不自然に聞こえたり、低音が誇張されたりする場合があります。トークラジオモードをオンにすると、低音が強調された番組の音声を聞き取りやすくするように、Wave® SoundTouch™ music systemが自動的に音質を調整します。

Play Mode ラジオを聴いているときに**[Play Mode]** ボタンを2回押し、トークラジオモードのオン(TALK RADIO- ON) / オフ(TALK RADIO- OFF)が切り替わります。

注記: 別の放送局に切り替えたり、ソースを変更したり、Wave® SoundTouch™ music systemの電源をオフにしたりすると、トークラジオモードは自動的にオフになります。

FMラジオの受信状態を向上する

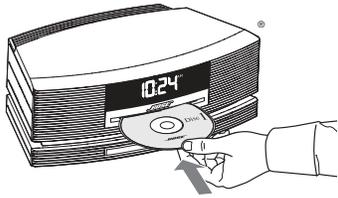
FMラジオを最適な状態で受信するため、電源コードをほどき、まっすぐに伸ばしてご使用ください。システムは、電源コードをFMアンテナとして使用します。



他のソースの再生

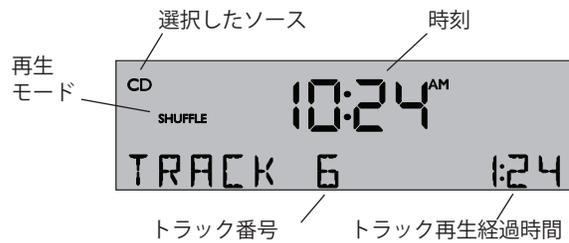
オーディオCDの再生

レーベル面を上にして、ディスプレイの下のスロットにディスクを差し込みます。ディスクがスロットに引き込まれ、再生が始まります。



ソースが選択されていない場合は、[CD] ボタンを押します。

オーディオCDの再生中は、CDソースの情報が表示されます。



Play / Pause



- [Play/Pause] ボタンを押すと、再生中のCDが一時停止します。一時停止中は、経過時間表示が点滅します。[Play/Pause] ボタンをもう一度押すと、再生を再開します。

Seek / Track



- [Seek/Track <<<] ボタンを押すと、再生中のトラックの先頭へスキップします。[Seek/Track <<<] ボタンをもう一度押すと、前のトラックの先頭へスキップします。
- [Seek/Track >>>] ボタンを押すと、次のトラックへ移動します。

Tune / MP3



- [Tune/MP3 <] ボタンを長押しすると、再生中のトラックを巻き戻しサーチします。[Tune/MP3 >] ボタンを長押しすると、再生中のトラックを早送りサーチします。

Stop / Eject



- [Stop/Eject] ボタンを押すとCDを停止します。[Stop/Eject] ボタンをもう一度押すとCDが取り出されます。CDの再生中に[Stop/Eject] ボタンを長押しすると、CDが停止してからディスクが取り出されます。

注記: 再生を停止したCDをもう一度再生すると、停止した箇所から再生が再開されます。

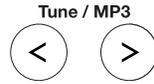
注記: 取り出したCDを10秒以内にスロットから取り除かないと、そのCDはプレーヤーに引き込まれて、もう一度読み込みが行われます。

注意: 8 cm CDや円形でないCDをプレーヤーに差し込まないでください。このようなCDは正しく再生されないだけでなく、取り出せなくなる場合があります。

MP3 CDの再生

Wave® SoundTouch™ music systemは、CD-RやCD-RWに保存されたMP3 ファイルを再生できます。

リモコンの[Tune/MP3] ボタンと[Seek/Track] ボタンを使用して、ファイルを探すことができます。



- Tune/MP3 < ボタンを押すと、前のフォルダーに移動します。
- Tune/MP3 > ボタンを押すと、次のフォルダーに移動します。



- [Seek/Track <<<] ボタンを押すと、再生中のトラックの先頭に移動します。
- Seek/Track <<< ボタンをもう一度押すと、前のトラックの先頭へスキップします。
- [Seek/Track >>>] ボタンを押すと、次のトラックへ移動します。

MP3 CDを操作している間、フォルダー番号とトラック番号が表示されます。



注記: ルートフォルダーのフォルダー番号は00と表示されます。

トラックを再生すると、アーティスト名、曲名、再生経過時間がディスプレイに表示されます(日本語非対応)。



注記: CDに保存されている音楽ファイルにアーティスト名と曲名が付けられていれば、Wave® SoundTouch™ music systemでそれらの情報が表示されます(日本語非対応)。

注記: MP3 CDの音質は、圧縮時のビットレート、サンプリングレート、使用したエンコーダーの種類によって変わります。Wave® SoundTouch™ music systemは、圧縮時のビットレートが64kbps以上、またサンプリングレートが32kHz以上のMP3 CDに対応していますが、ビットレートは128kbps以上、サンプリングレートは44.1kHz以上のディスクを使用することをおすすめします。

注記: CD-RやCD-RWに記録された音楽ファイルの音質は、ディスクに保存したときの記録方法と使用したソフトウェアによって変わります。不適切な記録状態のCDを再生すると、システムが正常に動作しない場合があります。

CD再生モード

Play Mode CDを再生中に、再生方法を変更することができます。**[Play Mode]** ボタンを何回か押し、次の再生モードを表示して選択します。

モード	CDボタン	MP3	説明
NORMAL PLAY	✓	✓	すべてのトラックを順番に1回だけ再生します。
SHUFFLE DISC	✓	✓	すべてのトラックをシャッフルして1回だけ再生します。
SHUFFLE RPT	✓		すべてのトラックをシャッフルして繰り返し再生します。再生順は毎回変わります。
REPEAT DISC	✓	✓	ディスク内のすべてのトラックを順番に繰り返し再生します。
REPEAT TRACK	✓	✓	再生中のトラックを繰り返し再生します。
SHUFFLE FLDR		✓	選択したフォルダー内のすべてのトラックをシャッフルして1回だけ再生します (MP3のみ)。
SHUF RPT FDR		✓	
SHUFF RPT CD		✓	ディスク内のすべてのトラックをシャッフルして繰り返し再生します。再生順は毎回変わります。
REPEAT FOLDR		✓	フォルダー内のすべてのトラックを順番に繰り返し再生します (MP3のみ)。

注記: CDをセットするたびに、再生モードはNORMAL PLAYに戻ります。

アラームボタンとアラーム表示

Wave® SoundTouch™ music systemでは、**アラーム1**と**アラーム2**に別々のアラームを設定できます。

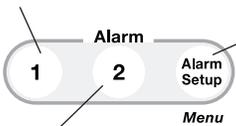
アラームには次の情報を設定できます。

- 時刻
- アラーム音の種類(ブザー音、ラジオ、CD)
- 音量

[Alarms] ボタンの使い方

アラームの設定と操作には、リモコンの一番下にある**[Alarms]** ボタンを使用します。

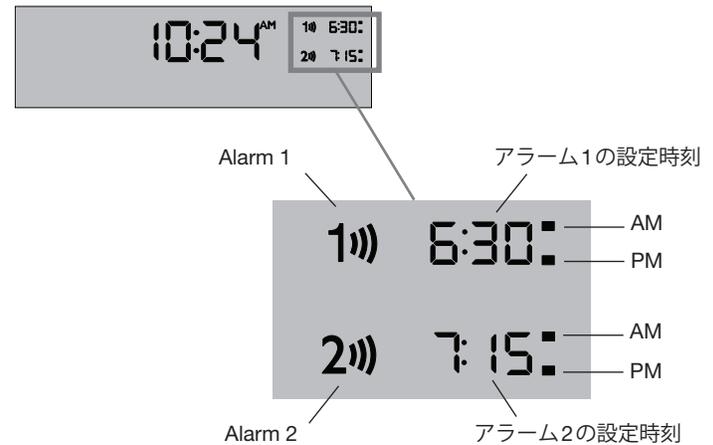
アラーム1のオン/オフを切り替えます。

- 
1. アラーム設定モードに移行し、アラーム1の設定を表示します。
 2. もう一度押しすと、アラーム2の設定が表示されます。
 3. もう一度押しすと、アラーム設定モードが終了します。
- アラーム2のオン/オフを切り替えます。

アラーム表示

アラームがセットされている場合、ディスプレイの右上にアラームの状態が表示されます。

アラーム1とアラーム2の設定例



アラームを設定する

アラームの設定を変更するには、アラーム設定モードを有効にして、ディスプレイにアラームの設定を表示します。

1. **[Alarm Setup]** ボタンを押します。

アラーム番号と時刻が点滅し(A)、しばらくすると、アラーム1の現在の設定が表示されます(B)。



2. **[Time]** ボタンでアラームの時刻を設定します。

3. アラーム音を選択します。

- ブザー音を再生する場合は**[Buzzer]** **[Sleep]** ボタンを押します。

Buzzer

- ラジオを再生する場合は**[Radio]** ボタンを押します。

- CDを再生する場合は**[CD]** ボタンを押します。

注記: アラーム音にAUXまたはSoundTouch™を設定することはできません。

アラームの設定と使用

4.  [Volume] の上下ボタンを押して、選択したアラーム音の音量を調節します。
5.  ボタンを押すとアラーム2の設定に移行します。手順2～4を繰り返して、アラーム2を設定します。
6. もう一度  ボタンを押すと、アラーム設定モードが終了します。

設定したアラームがオンになり、アラームの時刻がディスプレイに表示されます。

アラーム番号と設定時刻



アラームを使用する

アラームのオン／オフを切り替える

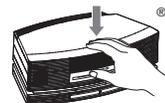
- ① ボタンまたは
- ② ボタンを押すと、それぞれのアラームのオン／オフが切り替わります。

アラームがオンの場合、ディスプレイの右上にアラーム番号と時刻が表示されます。

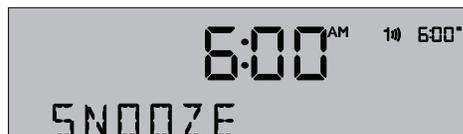


アラームのスヌーズを使う

タッチセンサーに手を触れるか  ボタンを押します。



SNOOZE がディスプレイに表示され、あらかじめ設定した時間が経過するとアラーム音がもう一度鳴ります。



出荷時には、スヌーズ時間が10分に設定されています。スヌーズ時間は20分、30分、40分、50分、60分のいずれかに変更できます。「セットアップメニュー」(20ページ)を参照してください。

アラーム音を停止してリセットするには

 ボタンを押します。

Stop Alarm

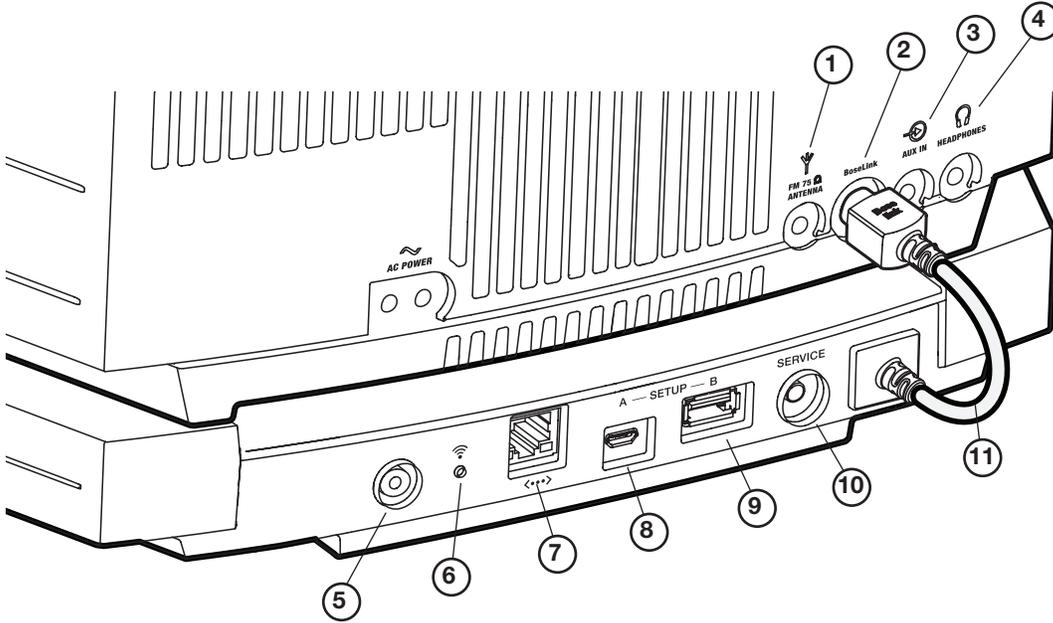
スヌーズを解除するには

スヌーズが設定された状態で、もう一度タッチセンサーに触れて2秒以上手を置いたままにするか、  ボタンを押します。

Stop Alarm

システムの接続

リアパネルには、外部機器を接続するための端子があります。



- ① **FM 75Ω ANTENNA**
3.5 mm FMアンテナ端子(19ページ)。
- ② **Bose Link**
SoundTouch™ pedestal用入力端子。
- ③ **AUX IN**
外部機器接続用3.5 mmステレオ音声入力端子(18ページ)。
- ④ **HEADPHONES**
3.5 mmステレオヘッドホン端子(18ページ)。
- ⑤ **[Control] ボタン**
Wi-Fi®機能の無効化(21ページ)、セットアップモードの開始、SoundTouch™ pedestalの再起動(21ページ)などに使用します。
- ⑥ **Wi-Fi®インジケータ:**
 - 白の点滅 - Wi-Fiネットワークに接続中
 - 白の点灯(暗) - システムオフ、Wi-Fiネットワークに接続
 - 白の点灯(明) - システムオン、Wi-Fiネットワークに接続
 - オレンジの点滅 - Wi-Fiネットワークから切断
 - オレンジの点灯 - システムセットアップモード
 - オフ - Wi-Fiネットワーク無効、またはEthernet経由で接続
- ⑦ **Ethernet 端子**
有線ネットワーク接続に使用します。
- ⑧ **SETUP A***
USBマイクロB端子(コンピューターでネットワークをセットアップするときに使用)。
- ⑨ **SETUP B***
USB標準A端子(将来の使用のため)。
- ⑩ **SERVICE**
特別なサービス機能のために使用します。サポート担当者専用です。
- ⑪ **SoundTouch™ pedestal Bose Link ケーブル**
Bose Link端子に接続します。SoundTouch™ pedestalに電源と制御信号を送るためのものです。

*USB端子はスマートフォンやタブレットなどの充電には使用できません。

外部機器の接続

AUX IN 端子を使用する

Wave® SoundTouch™ music systemをテレビ、DVDプレーヤー、コンピューター、ゲーム機などと接続すれば、より豊かで迫力ある高音質でお楽しみいただくことができます。

外部機器をWave® SoundTouch™ music systemに接続するには、以下のいずれかのケーブルを別途お求めください。



3.5 mmステレオ音声ケーブル(オス-オス)

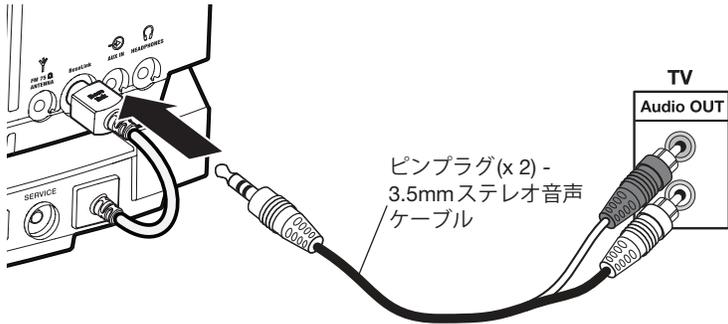


ピンプラグ(x 2) - 3.5 mmステレオ音声ケーブル

ケーブルに関するご不明な点は、ボーズ株式会社カスタマーサービスにお問い合わせいただくか、お近くの電気店にお尋ねください。連絡先については、「お問い合わせ先」(23ページ)をご覧ください。

システムにオーディオ機器を接続するには

1. ステレオ音声ケーブルの一方を、外部機器の出力端子に接続します。



2. ケーブルのもう一方を、Wave® SoundTouch™ music systemのリアパネルにある**AUX IN**端子に接続します。

3. リモコンの  ボタンを押します。

最後に再生していたソースが有効になります。

4.  ボタンを1、2回押してAUX入力を選択します。

AUXソースが表示されます。

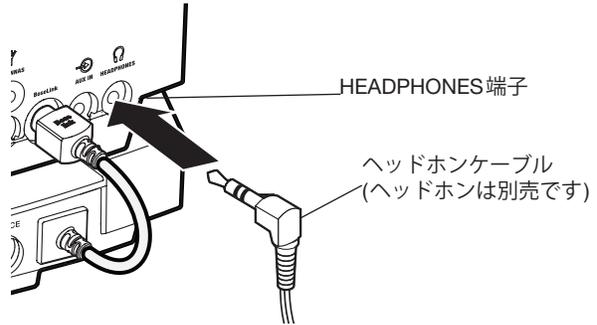
注記: **AUX IN**端子にオーディオ機器が接続されている場合、 ボタンを押すと、SoundTouch™とオーディオ機器が切り替わります。

5. 音量を調節するには、 + ボタンまたは  - ボタンを長押しします。

注記: Wave® SoundTouch™ music systemの音量を最大にしても音が小さ過ぎる場合は、接続した外部機器の音量を上げてください。

ヘッドホンの使用

音楽などをヘッドホンで楽しむには、Wave® SoundTouch™ music systemのリアパネルにあるヘッドホン端子にヘッドホンを接続します。



注意: 大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間にわたるヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。

注記: ヘッドホンを接続すると、スピーカーの音がミュートされ、ヘッドホンを抜くと、スピーカーの音が元に戻ります。ヘッドホンの音量は、スピーカーの音量とは異なります。思わぬ大音量での再生を避けるため、ヘッドホンを接続したり、抜いたりする前に、Wave® SoundTouch™ music systemの音量を下げてください。

注記: ヘッドホンを接続していても、アラームの設定時刻になるとシステムのスピーカーからアラーム音が鳴ります。

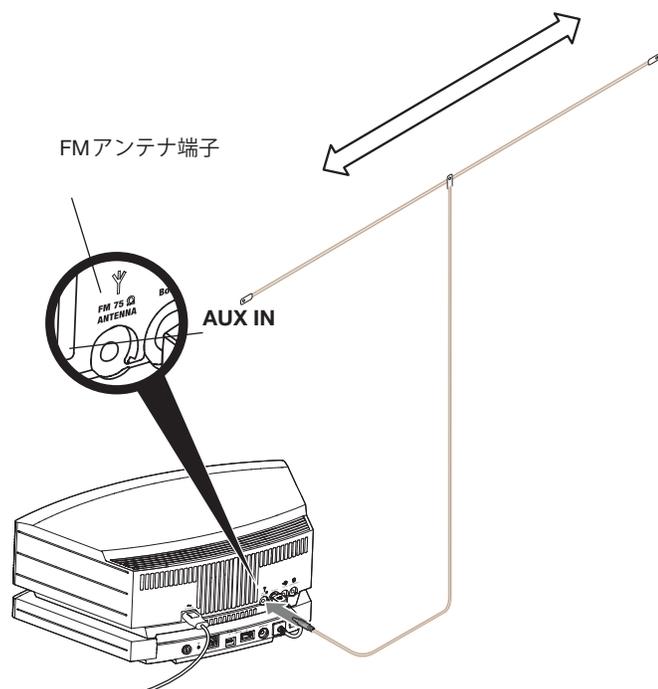
ヘッドホンの音量を調節するには

リモコンの  + ボタンまたは  - ボタンを使用して、ヘッドホンの音量を調節します。

外部アンテナを使用する

Wave® SoundTouch™ music systemは、電源コードをFMアンテナとして使用します。電源コードの位置を調整しても受信状態が改善されない場合は、外部アンテナを取り付けてください。T型外部FMアンテナのご注文については、カスタマーサービスへお問い合わせください。連絡先については、「お問い合わせ先」(23ページ)をご覧ください。

1. FMアンテナのプラグを**FM ANTENNA**端子に接続します。
2. 良好な状態で受信するには、アンテナを本体や外部機器からできるだけ離れた位置まで伸ばし、アンテナ線の両端をぴんと張って水平にしてください。



注記: 多くのFMラジオ放送局では、水平方向だけでなく垂直方向にも電波を送信しています。アンテナ線を水平方向に張っても受信状態が良くならない場合は、垂直方向に張ってみてください。

Wave® SoundTouch™ music systemの設定

セットアップメニュー

セットアップメニューから、Wave® SoundTouch™ music systemの操作方法を設定できます。

システム設定	メニュー項目	工場出荷時の設定	選択可能な設定	説明
スヌーズ時間	SNOOZE-	10 MIN	10 MIN、20 MIN、30 MIN、40 MIN、50 MIN、60 MIN	スヌーズ時間(分)を設定します。
Radio Data System (RDS) 情報	RADIO TEXT-	ON	ON、OFF	本機能は日本では使用しません。
連続再生	CONT PLAY-	NO	NO、AUX、FM、AM	CDの再生が終了した後に再生されるソースを選択します。
時刻表示形式	TIME-	12 HOUR	12-HOUR、24-HOUR	時刻を12時間表示(AM/PM)または24時間表示に切り替えます。
室内が明るいときのディスプレイの明るさ	BRIGHT HI-	10	8 ~ 15	室内が明るいときのディスプレイの明るさを設定します。
室内が暗いときのディスプレイの明るさ	BRIGHT LO-	4	1 ~ 8	室内が暗いときのディスプレイの明るさを設定します。
ルームコード (SoundTouch™ pedestal 使用時は設定できません)	ROOM-	B _ _ _ -	B _ _ _ -, C _ _ _ -, D _ _ _ -, E _ _ _ -, F _ _ _ -, G _ _ _ -, H _ _ _ -, I _ _ _ -, J _ _ _ -, K _ _ _ -, L _ _ _ -, M _ _ _ -, N _ _ _ -, O _ _ _ -	本機能は日本では使用しません。
タッチセンサー	TOUCH PAD-	ON	ON、OFF	タッチセンサーの有効(オン)または無効(オフ)を切り替えます。
18分スタンバイタイマー	AUTO OFF-	YES	YES、NO	18分スタンバイタイマーの有効(YES)または無効(NO)を切り替えます。「システムの電源操作」(10ページ)をご覧ください。
工場出荷時の設定に戻す	RESET ALL-	NO	NO、YES	Wave® SoundTouch™ music systemを工場出荷時の設定に戻します。

システム設定を変更するには

1.  ボタンを、「-SETUP MENU-」が表示されるまで長押しします。
2.  ボタンを何回か押して、変更するメニュー項目を表示します。
3.   ボタンを押して、選択項目を変更します。
4. セットアップメニューを終了するには、 ボタンを押します。10秒間ボタン操作を行わないと、セットアップメニューが終了します。

Wi-Fi®機能を無効にする

SoundTouch™ pedestalには、ワイヤレス接続とAirPlayへの対応を可能にするWi-Fi機能が組み込まれています。

1. pedestalの[Control]ボタンを8～10秒間長押しします。
2. Wi-Fiインジケーターが消灯したら、[Control]ボタンを放します。

Wi-Fi機能を再度有効にする

リモコンでWave SoundTouch™ music systemをオンにします。

SoundTouch™ pedestalを再起動する

SoundTouch™ pedestalの背面にある[Control]ボタンを10秒以上長押ししてから放します。数秒後にpedestalが再度オンになり、再度ネットワークに接続されます。

注記: 再起動しても、SoundTouch™のプリセットや保存したネットワーク接続情報は消去されません。

SoundTouch™ pedestalの設定をリセットする

SoundTouch™ pedestalの設定をリセットすると、SoundTouch™ソース情報とネットワーク接続情報がシステムからすべて消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

注記: リセット操作を行うと、SoundTouch™のプリセットと保存したネットワーク情報は消去されます。FM/AMラジオのプリセットは消去されません。

1. SoundTouch™ pedestalのケーブルがBose Link端子に接続されていることを確認します。
2. システムの電源を抜きます。
3. SoundTouch™ pedestalの背面にある[Control]ボタンを長押しします。
4. [Control]ボタンを長押ししたまま、電源を再度接続します。
5. [Control]ボタンをさらに5秒間長押ししてから放します。
システムが再起動します。
6. SoundTouch™ appを起動し、システムをネットワークに追加します(8ページを参照)。

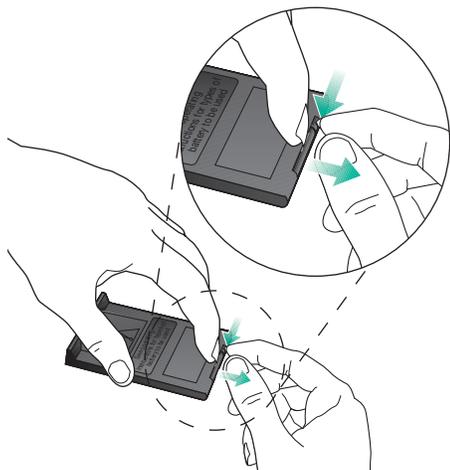
お手入れについて

故障かな？と思ったら

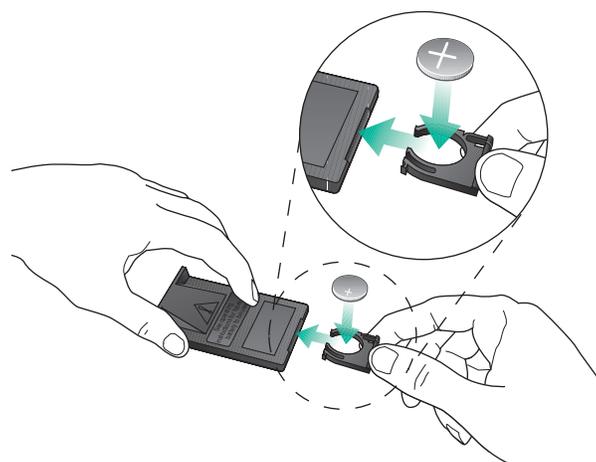
トラブル	対処方法
本体が機能しない	<ul style="list-style-type: none">電源アダプターを壁のコンセントにしっかりと差し込みます。電源コードをコンセントから抜き、10秒間待ってからもう一度差し込みます。この操作により、システムがリセットされます。システム上部のタッチセンサーに手を触れて、電源をオンにします(10ページ)。
ネットワークのセットアップを完了できない	<ul style="list-style-type: none">SoundTouch™ pedestalをBose Link端子に接続し、システムの電源をオンにします。ネットワークで使用している他のオーディオ/ビデオストリーミングを停止します。SoundTouch™ appを終了して、セットアップを再開します(8ページ)。システムをルーターの通信範囲内に設置します。セットアップに使用する機器(携帯端末やコンピューター)のWi-Fi®機能を有効にします。機器とSoundTouch™システムを同じWi-Fiネットワークに接続します。正しいネットワーク名を選択して、パスワードを入力します。ネットワーク名が表示されない、または非表示に設定されている場合は、[ホームWi-Fiネットワークに接続します]画面で[別のネットワークに手動で接続する]を選択します。開いている他のアプリケーションを終了します。セットアップにコンピューターを使用している場合は、ファイアウォールの設定をチェックして、SoundTouch™ appとSoundTouch™ミュージックサーバーが許可されるプログラムであることを確認します。SoundTouch.comにアクセスしてインターネット接続をテストします。携帯端末またはコンピューターとルーターを再起動します。システムを再起動します(アプリのヘルプをご覧ください)。アプリをアンインストールし、システムを出荷時の設定に戻してから、セットアップをやり直します。SoundTouch.comにアクセスするか、カスタマーサービスに問い合わせる(23ページ参照)、またはアプリのヘルプを参照してください。
AirPlay	<ul style="list-style-type: none">システムとAirPlay対応機器を同じネットワークに接続します。機器のAirPlayメニューでシステムを選択します。AirPlay対応機器で音楽が再生され、音量が上がっているか確認します。無線ルーターやアクセスポイントなど、電波の干渉を与える可能性のある機器からAirPlay対応機器を離します。携帯端末またはコンピューターとルーターを再起動します。 <p>注記: AirPlay対応機器とシステムは近付けてもかまいません。無線ルーターやアクセスポイントとの距離だけをご確認ください。</p>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">音量を上げます。[Mute]ボタン  を押します。CDを取り出してから再度ロードします。SoundTouch™を再生する場合は、 ボタンを押します。 <p>SoundTouch™ pedestalがWi-Fiネットワークに接続されていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none">AUX IN端子に接続されている外部機器を聴く場合は、 ボタンを押します。外部機器の電源をオンにして、音量を上げます。システムからヘッドホンを抜きます(ヘッドホンが差し込まれていると、スピーカーの音はミュートされます)。
音質が悪い	<ul style="list-style-type: none">AMラジオやFMラジオを聴いている場合は、トークラジオモードのオン/オフを切り替えてみてください(13ページ)。外部機器を聴いている場合は、適切なステレオ音声ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。
リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない	<ul style="list-style-type: none">リモコンをシステムに近付けて操作します。リモコンの電池が正しい方向(+極が上)で装着されていることを確認します。リモコンの電池を交換します。強い室内灯光や太陽光が本体に直射して、リモコン受信の障害になっていないか、またはリモコン先端のレンズにほこりや汚れが付いていないか確認します。システムを別の場所に設置します。
AMラジオの受信状態が悪い	<ul style="list-style-type: none">本体の向きを変えながら、内蔵AMアンテナの受信状態が良くなる位置を探します。テレビ、冷蔵庫、ハロゲンランプ、調光器付きスイッチなど、電気ノイズを発生する電気製品からシステムを離してください。受信状態が改善されない場合、AMラジオの電波が弱いことが考えられます。
FMラジオの受信状態が悪い	<ul style="list-style-type: none">電源コードをできるだけまっすぐに伸ばします。電源コードはFMアンテナとして機能します(13ページ)。「外部機器の接続」(18ページ)をご覧ください。
CDが再生されない	<ul style="list-style-type: none">CDソースが選択されていることを確認し、選択されていない場合は[CD]ボタンを押します。ディスプレイにCDアイコンが表示されます。レーベル面を上にしてCDをロードします。ディスクの表面に汚れがないことを確認します。汚れている場合は、表面に傷を付けないようにそっと拭き取ります。オーディオCDをセットしていることをご確認ください。DVDは再生できません。別のディスクをお試しください。

リモコンの電池を交換する

1. ボタン側を下にしてリモコンを平らな場所に置きます。
2. 電池カバーの留め具を図のように指で押さえます。電池カバーをスライドして開きます。



3. 使用済みの電池を取り出し、+極の表示を上に向けて新しい電池を装着します。



4. 電池カバーを静かに閉じます。自動的に留め具がかかります。

警告: 電池はお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込まないでください。化学薬品によるやけどを負う恐れがあります。この製品に付属のリモコンにはボタン電池が使用されています。ボタン電池を飲み込むと、体内で2時間以内に深刻なやけどを負って生命を脅かす恐れがあります。バッテリーカバーがきちんと閉まらない場合は、リモコンの使用をやめてお子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体の中に入ってしまったと思ったら、すぐに医師の診断を受けてください。リモコンの電池を誤って取り扱ったり、誤って交換した場合、破裂や火災、化学物質で皮膚が侵される危険性があります。また、分解や充電、焼却を行ったり100°C以上の熱を与えないようにしてください。3Vリチウムボタン電池の CR2032または DL2032に交換してください。使用済みの電池は速やかに処分してください。

お手入れについて

Wave® SoundTouch™ music systemの外装は柔らかい布で乾拭きしてください。必要な場合は、毛先が柔らかいブラシ付きのノズルを使用し、掃除機の弱いパワーでフロントパネルを清掃することもできます。液体洗剤、溶剤、化学薬品、アルコール、アンモニア、研磨剤などは使用しないでください。

本体の開口部に液体が入らないようにしてください。液体をこぼした場合はすぐに電源コードを抜き、ボーズ株式会社カスタマーサービスにご連絡の上、修理をお受けください。カスタマーサービスの連絡先については、「お問い合わせ先」をご覧ください。

ユーザーサポート

リモコン紛失時の再購入につきましては、ボーズ株式会社カスタマーサービスまでお問い合わせください。トラブル解決のための詳細情報については、ボーズ株式会社カスタマーサービスにお問い合わせください。

お問い合わせ先

故障、修理、製品等のお問い合わせ先
ボーズ株式会社 カスタマーサービス
お客様専用ナビダイヤル ☎ 0570-550-305

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。製品のご登録をお願いいたします。登録は、<http://global.Bose.com/register>から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

仕様

AC電源定格

100V \sim 50/60Hz 60W (最大)

外形寸法

約368 (W) x 約219 (D) x 約14.3 (H) mm (14.6" x 8.6" x 5.6")

質量(本体のみ)

約4.5 kg (9.9 lb)

付録: コンピューターを使用したシステムのセットアップ

セットアップに関する重要な情報

- スマートフォンやタブレットではなく、コンピューターからシステムをセットアップすることもできます。
- 付属のUSBケーブルが必要です。
- Wi-Fi®ネットワークに接続しているコンピューターを使用します。
- アプリでUSBケーブルを接続する指示が表示されるまで、ケーブルを接続しないでください。
- 音楽ライブラリが保存されているコンピューターを使用してください。

デスクトップコンピューターを使用してセットアップする

デスクトップコンピューターを使用している場合は、システムをコンピューターの近くに移動してセットアップします。コンピューターとシステムをUSBケーブルで一時的に接続します。その後、システムを使用する場所に移動できます。

コンピューターでシステムをセットアップする

1. システムをpedestalの上に設置します(7ページを参照)。
2. コンピューターでWebブラウザを開いて、次のURLを開きます。

SoundTouch.com/app

ヒント: 音楽ライブラリが保存されているコンピューターを使用してください。

3. SoundTouch™アプリをダウンロードして実行します。
4. システムをホームネットワークに接続します(8ページを参照)。
セットアップの手順はアプリに表示されます。







730921-0010

BOSE[®]
Better sound through research[®]

©2014 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM730921 Rev.02